常磐毎日
発行所
平市田町75番地
常磐毎日新聞社
電(代表)2104番
2105番

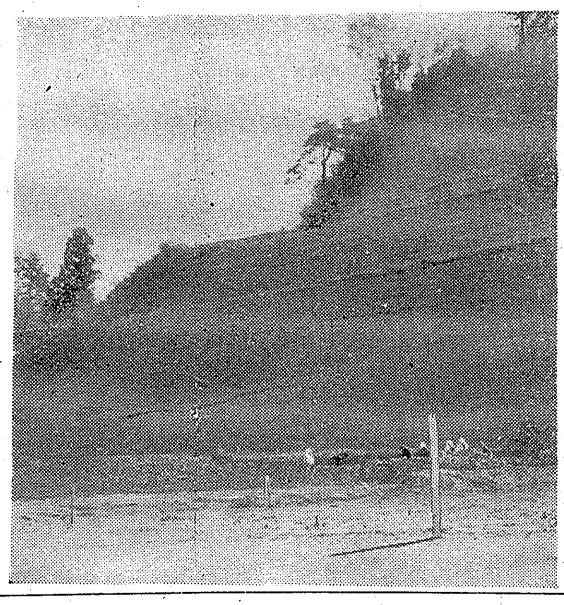
平名物・味じまん
甘太郎
真根井菓子店
平市鎧座 電四〇二五

岩盤と取り組んで11年

平三中の校庭拡張　完成に喜びも一しお

この拡張工事は去る二十五年四月、運動場として狭く生徒の体位向上にも大きく影響するとして当三開催されたことから、市が失対事業として工事をはじめた。しかし岩盤が堅いうえ、機械の使用もなかつたため予定通り工事ははかどらなかった。このため当局では自衛隊の出動などを要請するなどしたが、話がまとまらずに一時中止の状態にまで陥つた。しかし早期完了が強く要望されたため一昨年五月からダイナマイト使用による岩盤切崩し作業に踏み切り、延日四十人の人夫が出動しての突貫工事に入つた。現在二万リューベにわたる切崩しがほぼ完了、総仕上げをするはかりとなつているが、これまでに延べ十万人工要四千万円を費やすという永くそして難工事であつた。これによりこの三月には一応の工事を終了、最終である上ぬりの工事に入り、八月には見違えるようになるが、この拡張により現在の校庭二万平方メートルが一万三千平方メートルとなり青空の下で伸び伸びと体育ができることになり、生徒はじめ関係者は喜んでいる。また校庭拡張とともなつて今春の卒業生が野球用バックネットを寄付するなど、同校は二重の喜びにわいている。

◇…着工以来十一年を経過した平三中の校庭拡張工事はダイナマイ…◇
◇…トなどによる岩盤切崩し工事が進められていたが、この三月に…◇
◇…は完成の運びとなり、屋外運動に不便をかこつていた校庭拡張…◇
◇…関係に終止符を打つことになり、関係者を喜ばせている。…◇



（写真は十一年振りに完成する平三中の校庭拡張）

高校対策など協議

10日　教育予算確保大会

教育予算確保協議会石城地方大会は十日午前十時から平一小校に管内の学校長、PTA会長、教育長、同委員長らがあつまつて開き、三十八年度が最高とみられる高校急増対策などを協議する。大会の要望重点目標は次の通りである。

小中学校＝❶普通学級の一学級編成基準を小学校五十四人、中学校五十二人とされたい❷複式教室の編成基準を改善されたい❸教職員の配当基準を次のように改善されたい。小学校においては分科担任教員を配置できるようにし、授業時間数の軽減をはかられたい。中学校では配当基準を全国平均なみとし併せて等級学級に対する配当を倒数学級なみとされたい。

高等学校＝❶高等学校設置基準2号を表の基準を下回らないようにする❷養護教員を増員する❸司書教員を一校一名配置する❹学校警備を配置する❺通信教育の専任教員を増員する。

特殊教育＝❶精神薄弱、虚弱児童生徒の学級編成基準は十人としてこれにみたない学級もこれを認めるようにし、積極的、計画的にこれを育成する❷盲学校、ろう学校における理療木工、被服の各科に助手一名を配置する❸用務員を増員するとともに、寮舎を定定通り配置する。

PTA負担の軽減＝❶高等学校における不足教室の増築ならびに老朽校舎の改築をすみやかに実施するとともに地元負担の軽減をはかる❷高校の校舎管理費を全額負担する。

旅費、諸手当＝❶普通旅費の外に赴任旅費、修学旅行、進路指導、クラブ活動を別枠として確保引率する旅費を別枠として確保されたい❷宿日直手当三百六十円を日直百八十円に増額されたい❸事務職員の超勤手当を増額されたい。

平一小二月中の行事　平第一小学校では月の行事を次の通り決めた。

▽十日学年会▽十三日避難訓練▽十四日社会見学▽十五日校外補導▽十八日学校保健講習会▽二十八日オンピック貯金。

水石など全国紹介

国鉄　石城の観光に本腰

国鉄の三十六年度寒季総合宣伝打合会は七日午後一時から常磐市の松相館に供勝東京鉄道管理局旅客課宣伝係長ら三十六人があつまつて開き、三十五年度秋季輸送実績、及び会計報告、寒季臨時列車運転、寒季地区別宣伝などを協議した。なかでも常磐地区は水石夏井地区を重点にパンフレット、チラシを配つて全国的宣伝をする。

第八辰丸　機関に故障

巡視船くま救助に向う

磐城市江名、底引水産所有の第五辰巳丸（八四トン、鈴木五郎船長）が平市塩屋崎南東約四百マイル神合を航行中、九日午前一時ごろ機関に故障を起こし、自力で航行不能であるとの江名浜港はいわしの水揚げラッシュにわいている。同港は昨年秋のさんま不漁以来さびれていたが、ことしにはいつていわし漁がめつきりふえ、最近は大漁につぐ大漁で加工業者も息をふきかえしにわかに活気がいている。

小名、江名、四倉港を中心とした磐城地区のいわし漁は昨年十一月から本格的シーズンにはいつたはじめはそれほど目だつた漁でもなかつたがシーズンが深まるにつれてしり上りの好調をみせ、とくに最近は漁場の磐城沖が近いわし群が濃密になつたため豊漁また豊漁、現在県内船のほか青森、岩手、宮城、茨城各県の漁船四十九隻が入り乱れて漁獲戦を展開しており、中には一、三回往復して一晩で五、六百万円も荒かせぎしている船もあるほど。昨年秋から二月六日までに同港に水揚げされたいわしは二万五百九十三トン（漁業協同組合調べ）に達している。これは前年同期のざつと三倍の漁獲量で組合の話では小名浜港はじまつて以来の大豊漁だという。

この豊漁をかゝわらず価格は現在いわし二十三—四十円（キロ、送）背黒いわし一七—二十円（同）という好値。これは昨年秋のさんま不漁で原料不足に悩んでいた加工業者がどつと買いついたためでこれまでの平均価格も前年並みの高値となつている。しかも今年は値のいゝ真いわしが目立ち、同組合調べによると総水揚金額は三億七千八百万円（うち真いわし一億八千万円）とこれも前年の三倍以上である。

なお四倉港の各加工業者はこの大漁に今月はじめから一せいに加工に入つた。

大漁節も飛び出す

石城各浜　イワシのラッシュ

石城地方農業振興大会は二十日午前十時から平市公会堂に佐藤県知事を始め市町村、同議会、農業委員、同推進員、農協、資産関係者などおよそ千八百五十人を集めて開く。今回の大会は従来に例をみない大規模なもので、生産力が急増しながら収益が増えないといわれ、曲り角の農業といわれている石城の農業の在り方、とくに現在活躍の中心となつている広域都市建設という事態の中でどう振興してゆくかなどを組団体から持ち寄つた具体策を検討して、今後の振興方向を打ち出そうというもので、その成果は注目される。なお大会のあと農林省資産局長大浜勝氏が「農業基本法について」と題する講演を行うことになつている。各団体毎の出席予定人員は▽市町村三十人▽農業委員三百六人▽農業推進員七百人▽農協百五十人▽農業法人三十六人▽資産五十人▽蚕業五十人▽林業五十人▽たばこ耕作三十人▽農産研究会員人▽農業組合二百人▽農青連百人となつている。

一千人の大集会

佐藤知事も出席　農業の振興を討議

爆弾発言の損益

まとめ役がもましては

閻魔帖

新春々当地方民の「大井川発言」は、結局大井川氏の不謹慎な発言だとのことで不発に終つた。まさに泰山鳴動してネズミ一匹の例えだが、アチ恐に出きれてイタクもない感を受けられたり。このためにせつかくの土地造成問題にひびが入つたりで地元民にとつてはとんだ雌雞だつた。「あの程度がちようどいい、徹底して糾明するとケガ人がでるからなア」（民友9日付記者談）と大井川氏の後日談も紹介されているが、地元でまとめ役に回る立場にありながら、県政に持ち込んで或る日突然パクロ戦術にうつたえるようなやり口は余り感心できない。

▼▼ケガ人がでるかうほどほどでよかつた、要は相手方をケンせいすれば初期の目的を達成できたのだから…とでもいうのだろうか。まさか私憤のウップンを晴らすために県政をわずらわし、地元民まで巻きぞえにしたわけではないと思うが、どうもそんなニオイが強かつた。カゼ気味で熱が昂ぶなつているのだろうな。地元民は政争の具に巻き込むとは何事だと憤慨し、心ある人々は何と恥知らずなことをするのだとチ怪いた。結局は地元のボロを県政を通じて天下にさらけ出したに過ぎなかつた。こんなことだから石城というところはまとまりのないところだと益々既評を高めるのだろう。

▼▼常磐市成政というわけで、相手方の小野氏側にも落ち度があつたということもつけくわえられている。地価つり上げを策した事実は認められないが、開発公社理事という立場にありながら土地買収について説明をうけるような言動があつたように推定されるのは遺憾だつたというわけである。大井川発言では被害者の立場にもおるわけだ。その真意はとにかくとして、こうした不発弾を持ち込んで地元に対する県内外の疑わく を一そう強めさせたという事実に対しては、県政の古参としてまた地元開発を推進する上の指導的立場にある者としては強く反省して貰わねばなるまい。

▼▼不発に終つた以上、来る県会では爆弾投下の責任者は当然追求されるだろうから、こんどは大井川氏が被告の立場に立たされる。物好きは早くもその日を期待してさえ居る。またこの第二、第三の爆弾が投下されるのではないかという思わくがあるかだ。が、ボロの出し合いはもうこりごりだろう。ウップン晴らしでは土地造成もできないし、広域都市も夢物語だ。「危険な十七才」で話題の少年テロは死物を振り回して何ぐみずだが、不発爆弾を振り回して人めいわくも考えないでは危険な十七才とチソトも笑るまい。もつと大人らしい包容力こそ示して欲しいものだ。

▼▼この騒ぎで行方を案じられた土地造成問題も、市当局と地元民がひざを まじえて話し合つた結果、従来の行きがかりは一切白紙に返し、促進協議会の下に一本となつて新しく土地造成と取り組むことになつた。元来小名浜地区はニナト小名浜が東北に誇る外湖港となり、隣接する広範囲な土地の造成は常磐地区開発、そしていま話題の広域都市建設する産業誘致の中心として脚光を浴びているところだ。雨降つて地固まれば、工場地帯として生れ変る日も遠くはあるまい。「大井川発言」などもこの辺で打ち切りとし、手を握り合つて心機一転を期す地元民の時間にこと立つて貰いたいものである。

一千人の大集会

佐藤知事も出席　農業の振興を討議

石城地区の第一回新春民謡大会は十七日午前十時から内郷市のヘルスセンター大広間で開かれる。石城民謡愛好会など平、内郷、磐城間の各民謡グループが参加する。

ヒヨコなど焼く

常磐、コンロの不始末

九日午前一時五十分ごろ常磐市勝嶋字やらび平一五の一農業籠重造さん宅三方の鶏小屋から出火、発見されておくれたため同鶏小屋、物置など二十平方メートルを焼いて二時半ごろ鎮火した。原因は常磐署の調べによると育ひなのため小屋に豆れんたんのコンロを入れておいたので、それの加熱とみられる。損害はヒヨコ百八十羽を焼いたので約二十万円。

36年度予算に計上

太平洋ライン　佐藤知事が言明

太平洋ラインの早期実現を目指している常磐地区観光連盟（会長諸橋平市長）の関係者十五人が八日出県、実現のための予算獲得について地元選出県議をまじえ佐藤知事はじめ常磐商工労働部長、相楽観光課長、松浪財政課長ら県の首脳部に強力に陳情した。これに対し佐藤知事は「三十五年度整理予算、または三十六年度当初予算に調査費を含めた工事費を計上、早期実現を図る」と言明、これによつて太平洋ライン計画は大きく一歩進展した。なお常磐地区の観光開発に大きな役割を果すことになつている。

手配中の少年捕まる

平署は八日、四倉町下仁井田土工少年A（二）を窃盗の疑いで捕まえた。

トラックに跳ねられ重傷

八日午後六時ごろ四倉町仲町地内路上で同町の根本米蔵（三）の運転する大型トラックに同町仲町パマネント業盛佐荘平さん長男和司ちゃん（二＝四倉小三年＝が跳ねられ、左脚下骨折で一カ月の重傷を負つた。原因はトラックを車庫に入れようとしてバックしたところ、勉強帰りの和司ちゃんに気付かず後ポデーで跳ねたもの。

歩道を延長

計画だと第一期工事としては磯原から久之浜に至る延長五十七キロにわたる海岸コースが予定され、このコースが完成次第に山岳コースの工事を進めようというものであるが、常磐地区の観光開発に大きな役割を果すことになつている。

磐城農委会

昨年十一月二十八日午前九時半ごろ神奈川県藤沢市の旅館から宿泊人の背広など衣類十六点、五万円相当を盗み、磐沢署から指名手配されていたもの。

磐城農委会は十日午前九時から市役所会議室で農地法第三条第一項の規定による許可申請について外五議案により第八回委員会を開く。

常磐市民生委に三氏

常磐市民生委員の補充員に佐川忠七（四郷）根本キクノ（上川）吉田源吉（泉田）の三氏が選ばれた。

働く少年の慰安会

磐城市福祉事務所では十六日午後一時から小名浜公民館で働く少年二百十三名を招き慰安会を行う。

四倉鮮組の定休日

四倉町鮮魚小売商組合（組合町新製唯一郎氏、加盟十五軒）では従来毎月二十日に定休していたが、あす十日から毎月十日を定休日に変更した。

田町など断水

平市役所水道課では田町地内消火栓洩れ防止工事のため十日午前九時から十時半まで田町二、三丁目の一部を断水する。

柔剣道大会を延期

仙の第三回平市柔剣道大会は十二日開く予定だつたが、会場の都合で二十六日平磐商武場で開くことに変更された。

皆様の
常磐屋時計店
平市
TEL2339—

インスタント米を発明せよ
藤越
お湯をさせばすぐ食べられるインスタント食品が将来はウンと発達して台所が不要になるんだそうですが、さていつのことでしようね
即席ラーメン（二種）　三〇円、三五円
甘酒の素（三種）　一九円—四二円
即席スープ（十五種）　四五円
しるこ（三種）　四一円—四五円
おぜんの素　三〇円
インスタントリプトンコーヒー　四四円
〃ネスコーヒー　四八〇円、二三五〇円
〃ポン即席紅茶　二七〇円
藤越
平市

BGMのオアシスバー
●社交女性を求む
銀座の人気者
花束
（酒喜殿ウラ）
TEL4432

理容競技大会おしらせ
左記により本学院各卒生による第二回理容競技大会を開催致しますから万障繰合せの上御参加下されお祝おしらせ申上げます（尚通知もれの方がありましたらお訪い合せ下さい）
記
一、日時　二月二十七日午前九時
一、場所　平高等理容美容学院
一、参加資格　第一回より第八回までの本校卒業生
一、競技種目　カツテング（ヘアースタイル）、ロング、いづれにても可競技会に際し第一回より第五回迄の卒業生を組合せ一部とし、第六回より第八回迄の卒業生を組合せ二部とし一部、二部を各別に審査する
一、賞　各一位優勝杯三位まで賞品授与
一、参加費　参加者全員
主催　社団法人平高等理容美容学院
後援　平高等理容美容学院協力会
平東京理容美容学院同窓会
平高等公衆衛生学院同学校
理容美容学院

東京混声合唱団招く
いわき労音
いわき労音の二月例会は東京混声合唱団を招いて十一日午後六時から内郷市公会堂で開く。プロは十五、六世紀の歌、世界名曲集、ロシア民謡集、農民の唄、黒人霊歌集などとされている。とくに農民の唄は郷土の生んだ詩人猪狩満直氏の作詩によるものである。
なお猪狩氏は好間村川中子に生まれ、二十才でクリスチャンとなり、聖書詩篇に没頭。大正十一年に三浦混沌、草野心平氏らと詩誌「銅鑼」を発行、次いで「銅鑼」に参加。のち「至上詩」等に作品を発表した。この間の生活は貧苦にさらされ、妻の死、再婚、病苦などの生活ののち昭和十三年四月郷里で病歿した。

柔剣道大会を延期
仙の第三回平市柔剣道大会は十二日開く予定だつたが、会場の都合で二十六日平磐商武場で開くことに変更された。

亡父広二儀
葬送の際は御多忙中にも拘らず遠路態々御会葬下され且つ御鄭なる弔御香奠を賜り御厚情誠に有難く厚く御礼申上げます
早速拝趨の上御礼申上げるのが本意ですが略儀乍ら紙上を以て御礼旁々御挨拶申上げます
福島県平市中町二番地
昭和三十六年二月九日
喪主　穂積祺一郎
親戚代表　穂積綬
友人代表　阿部秀雄
〃　武川信一
外鈴木俊夫
親戚　同次郎

伊勢松坂牛すき焼き
伊勢松坂牛すき焼御一人前一〇〇円
白鳥の雪　一級酒正一合迄付　八〇円
白鳥の雫　一級酒正一合〃　一二五円
桜正宗　一級酒正一合〃　一二五円
桜正宗　特級酒正一合〃　一六〇円
◎禁酒◎　女子従業員を求む
居酒屋まるさ
平市中央通り　電三八二〇

綿・ふとん・打直し
株式会社　安吉村綿店
平市公園下　電三五七・五五四九

医団法人
松村病院
院長　松村享
外科部長　細野愛雄
整形外科部長　松村亨
皮膚科部長　豊川保雄
内科部長　四戸隆太郎
胃腸科部長　門屋嘉明
小児科部長　金子義蔵
神経科部長　坂本剛
産婦人科部長　佐藤稔
精神科部長　坂本剛
放射線科部長　四戸隆太郎
本院　平市岡町二三
城南分院　平市手綱町二九
平市小太郎町一八
電話（代表）二二六一—二二六三

伊藤歯科医院
歯科医師　伊藤一人
歯科医師　伊藤憲治
平市才槌小路一番地
TEL（平）二三四五
好間分院（平）二六二二

恒例名物
植田市
期日　二月十四、十五、十六日
場所　植田町会場の各商店
当日は各商店が露店も開き、格安な販売合戦を行う。御期待下さい。
主催　植田町商工会

成田山初詣で大売出し
青いサービス券倍額進呈
青いサービス券二百五十枚で招待（一切を含む）
主催　植田サービス店会
植田専門店会
売出期間　二月十三日から二月十七日まで
招待日　二月十三日（ロマンスカーの旅）
コース　鹿島、香取神社参拝

（第三種郵便物認可）定価一カ月100円・一部5円

珠算検定合格者　平市

4級　薬谷朝子　塩沢基枝　遠藤政義　阿部トシ子　鈴木トシ子　吉村しづ子　鈴木清明　神野育子　酒井由江　佐々木幸枝　渋沢勢津子　金成宏子　遠藤一司　鈴木英俊子　新妻政子　古河幸子　鈴木英俊子　小針常子　宮田江美　金成宏子　遠藤久恵　遠藤幸子　今野英雄子　水野政英　斉藤久恵　神田栄次　植田明敏　吉田次男　鈴木英俊子　小林キミヨ　水野芳子　堀敏雄　小磯敏子　菅野英代　荒泰雄　荒イチ　赤津まさ子　水野信子　小針常子　大川孝子　佐々木静子　猪狩晋郎　猪狩登　阿部秋芳　稲野辺博子　岡田悠郎子　佐藤一郎　橋本ひろ子　木田洋志　水野トシエ　菅家令子　佐川敏子　平子遼子　志賀文子　曽我いすみ　河井芳子　高橋キヨ子　阿部正國　鈴木世英枝　渡辺信子　高田夕力子　金沢　巴　山本澄子　吉田阿津子　坂本東英子　坂本京子　阿部喜代美　木越重男　宮内良子　坂本良子　茂木利幸　白石アサヨ　猪狩正子　大森芳子　佐久間みさ子　吹谷良一　石沢京子　三船洋子　小堀チエ子　根本國一　西川勝代　鈴木進　吉田はる子　長瀬千恵子　鈴木恵子　山口由利子　塚原令子　関口勝代　佐藤正英　櫛田幸子　佐藤公一　坂本良子　坂本ゆみ子　山口良江　吉成ちゑ子　宮内一夫　相楽芳子　野瀬恵美子　佐川重子　大平二三子　鈴木和子　吉田洋一　矢内利枝　長瀬千恵子　江川チイ子　吉田次男　大越喜恵子　千鶴枝子　八木沼英夫　佐藤政司　吉田一英　大越弓子　佐藤政義　阿部トシ子　鈴木トシ子　吉村しづ子　鈴木清明　神野育子　酒井由江　佐々木幸枝　渋沢勢津子　金成宏子　遠藤一司　鈴木英俊子　新妻政子　古河幸子　鈴木英俊子　小針常子　宮田江美　金成宏子　遠藤久恵　遠藤幸子　今野英雄子　水野政英　斉藤久恵　神田栄次　植田明敏　吉田次男　鈴木英俊子　小林キミヨ　水野芳子　堀敏雄　小磯敏子　菅野英代　荒泰雄　荒イチ　赤津まさ子　水野信子　小針常子　大川孝子　佐々木静子　猪狩晋郎　猪狩登　阿部秋芳　稲野辺博子　岡田悠郎子　佐藤一郎　橋本ひろ子　木田洋志　水野トシエ　菅家令子　佐川敏子　平子遼子　志賀文子　曽我いすみ　河井芳子　高橋キヨ子　阿部正國　鈴木世英枝　渡辺信子　高田夕力子　金沢　巴　山本澄子　吉田阿津子　坂本東英子　坂本京子　阿部喜代美　木越重男　宮内良子　坂本良子　茂木利幸　白石アサヨ　猪狩正子　大森芳子　佐久間みさ子　吹谷良一　石沢京子　三船洋子　小堀チエ子　根本國一　西川勝代　鈴木進　吉田はる子　長瀬千恵子　鈴木恵子　山口由利子　塚原令子　関口勝代　佐藤正英　櫛田幸子　佐藤公一　坂本良子　坂本ゆみ子　山口良江　吉成ちゑ子　宮内良子